

日本産業衛生学会 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局
(事務局 藤木幸雄)
〒571 大阪府門真市殿島町7番6号
松下産業衛生科学センター内
FAX 06-902-2019
発行責任者(地方会長) 堀口 俊一

第45回近畿地方会総会およびシンポジウムのご案内

日本産業衛生学会近畿地方会 会長 堀口 俊一

日本産業衛生学会近畿地方会の総会を開催します。会員の多数の参加をお待ちしています。

日 時 平成9年5月16日(金)午後1時30分から5時まで

場 所 大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂

大阪市阿倍野区旭町1-4-54

JR天王寺駅より徒歩10分

— 総会プログラム —

議 事 午後1時30分～2時20分

- (1) 平成8年度事業報告
および平成8年度決算報告
- (2) 平成9年度事業計画
および平成9年度予算
- (3) その他

— シンポジウム 午後2時30分～4時30分 —

テーマ 国際化のなかでの産業保健

1. 「受入れ外国人労働者の労働実態と健康問題」
辻 啓次郎(田辺地域産業保健センター 副センター長)
長野 進(田辺地域産業保健センター コーディネーター)
2. 「海外派遣労働者の健康管理」
阪上 皖庸(松下健康管理センター 所長)
3. 「開発途上国の労働と労働者の健康」
橋本 和夫(金沢大学名誉教授)
座長 武田 眞太郎(和歌山県立医科大学 看護短期大学部)

会員外のシンポジウムの聴講について

このシンポジウムは地方会の会員でなくても参加することができます。

会員は無料、会員外の方は当日受付で参加費を徴収致します。事前の申し込みは必要ありません。なお、会員以外の方は総会議事に参加することができませんので、シンポジウムの時間に合わせてご来場下さい。

日本医師会認定産業医制度の単位について

このシンポジウムは、日本医師会認定産業医制度の単位が認められていますので、医師会の産業医学研修手帳をご持参下さい。

評議員の皆様へ

評議員会を総会の前に開催します。評議員の方はご参加下さい。

日本産業衛生学会近畿地方会 会長 堀口 俊一
日 時：平成9年5月16日(金)午後1時～1時30分
場 所：大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂

評議員の皆様へ：地方会ニュースに同封されています総会および評議員会出席確認葉書を5月14日までに必ずご返送下さい。



平成8年度第1回近畿産業看護部会研修会報告

日 時：平成8年10月18日

場 所：大阪建築健保会館

テーマ：「効果的な保健活動を考える」

ー対象が満足する活動とはー（パート1）

講 師：エッソ石油(株)医務部長 森 晃爾先生を迎え産業保健における顧客満足（以下CS）と題した講演を聴く。要旨は、産業保健で効果的な保健活動を考える時、経営用語のCSを産業保健に応用して本当の顧客満足を導くためには、どのような産業保健活動をすればいいか？という内容であった。

・CSとは顧客が満足する事であって企業側が満足したと判断する事ではない。実際の評価は、相手が満足したかどうか相手の感覚で決まる。企業がCSを全面に出して企業活動するようになったのは顧客が満足する事によって企業経営（経済発展・人材育成）自体が総て良い方向に行くというねらいがある。

・なぜCSに行きついたか？

産業保健は企業活動の一部であり、経営者から経営資源（人材・資金）を預かりそれを活用して企業と社会の発展に貢献する活動である以上、経営者とコミュニケーションをはかる為に絶対必要な共通の言語としてCSに至った。

・CSを産業保健に実際に役立てるためには？

企業発展には1)経済発展 2)人材育成の2面からなるバランスが大切で、産業保健では①安全配慮義務の活動②人材育成や福利厚生に関わる活動の中で顧客満足を実践する。産業保健活動の評価では①年間計画のプロセス評価②サービスに対する社員の満足度評価が必要。不満や要求内容を相手からフィードバックする。この2つの部分はすぐ改善に結びつく。自分の企業に合った産業保健サービスを受ける事を望んでいる。相手の多様化したニーズに対応する必要性が力説された。（後日冊子にする予定）（文責 岡田治子 ダイハツ健保 保健婦）

平成8年度第2回近畿産業看護部会研修会報告

日 時：平成9年2月28日（金）

場 所：NTT内本町会館

テーマ：1)「効果的な保健活動を考える」

ー対象が満足する活動とはー（パート2）

第2回の研修会は、前回の森 晃爾先生から教わった「産業保健におけるCS（顧客満足）」を踏まえてパネルディスカッションを行った。パネラーは、

①重野貴美子（松下電器産業(株)アイロン事業部）

②松本 泉美（モロゾフ(株)安全衛生推進室）

③花田 久美（日新製鋼健康保健組合阪神支部）

〔発表要旨〕

①重野：組織的な健康づくり活動のスタッフの一員として産業看護職が職場の協力を得ながら、社員の個性を大切に指導「健康教育」の実践状況を紹介。

②松本：各地に点在する事業場を看護職が巡回して実施中の個別面談「健康相談」を、従業員と看護職の接点の場（時間）として最大限に活用しているとの紹介。

③花田：「CS調査を取り入れた主婦健診の事業内容と情報収集による対象のニーズに合ったサービスが効果的な保健活動につながった事例の紹介。

・指定発言：中島先生（神戸市看護大）は、「組織づくりの重要性を指摘」された。参加者の質問から「対象の満足を追求するとスタッフは疲れるのではないか？」に対して、「疲れるが達成感が味わえる。対象から活力がもらえる。やって良かったと思える。自分の理解者を作ることになる」等の意見がでた。参加者の質問の「紹介された事例の組織内での進め方の手順」について各々回答があり、活発に討議された。

テーマ：2)改正労働安全衛生法（平成8年10月1日）施行の解説

講 師：労働福祉事業団大阪産業保健推進センター 副所長 豊村 昭則先生

労働安全衛生法の改正点の詳細な解説を受けた。

今後、看護職の弱い点である労働安全衛生法についての研修を継続していく必要性を感じている。

2つのテーマについて、参加者一同熱気溢れるなか、新たな勇気が沸き起こる研修会であった。

（文責 長澤孝子 積水化学(株)滋賀栗東工場 保健婦）

【じん肺研究会報告】

じん肺研究会世話人

坂谷光則（国療近畿中央病院内科）

第37回じん肺研究会（平成8年度）は、3月29日（土）の午後に大阪成人病センター研究所内のカンファレンスルームにおいて、下記のプログラムで開催した。あいにくの雨の中、18名の検診機関の医師・技師および大阪労働基準局からも参加があり、2時間半の熱心な報告と質疑応答で終始した。なお、本研究会の次回開催テーマを募集中です。

①「じん肺審査ハンドブック」の改訂について

坂谷光則（近畿中央病院）

②「じん肺撮影技術研修」に参加して

橋田直樹（松原保健所）

③良いじん肺レントゲン写真の撮影方法

平島泰男（近畿中央病院）

④国際職業性呼吸器疾患会議および米国放射線学会じん肺シャウカステンセミナー（10月、京都）の案内

総会資料

平成8年度決算及び平成9年度予算(案)

項 目	平成8年度		平成9年度
	予 算 額	決 算 額	予 算(案)
収入の部			
前期繰越金	1,848,279	1,848,279	2,000,955
本部交付金	1,260,000	1,344,000	1,400,000
地方会費	1,862,000	1,982,000	2,000,000
役員選挙積立金解約	0	0	0
利息	30,000	0	30,000
雑収入	0	72,000	0
収入合計	5,000,279	5,246,279	5,430,955
支出の部			
需 要 費			
印刷費	710,000	726,665	790,000
備用品	200,000	195,700	0
消耗品	100,000	103,159	120,000
通信運搬費	740,000	688,560	630,000
需要費合計	1,750,000	1,714,084	1,540,000
地方会運営費			
総会費	80,000	80,265	85,000
学会費	300,000	300,000	300,000
幹事、評議員会費	100,000	8,630	105,000
地方会運営費合計	480,000	388,895	490,000
部会活動費			
産業医部会	100,000	101,442	100,000
産業看護部会	100,000	100,340	100,000
部会活動費合計	200,000	201,782	200,000
研究会費			
研究会費	400,000	100,618	350,000
研修会等の補助	90,000	30,110	90,000
研究会費合計	490,000	130,728	440,000
事務局費			
活動費	360,000	360,000	360,000
学術担当費			
学術担当費	100,000	80,000	100,000
広報活動費			
広報活動費	100,000	25,355	100,000
理事活動費			
理事活動費	100,000	105,000	100,000
活動費合計			
活動費合計	300,000	210,355	300,000
別途積立金			
役員選挙積立金	100,000	100,000	100,000
記念事業積立金	100,000	100,000	100,000
別途積立金合計	200,000	200,000	200,000
予備費			
予備費	1,120,279	0	1,800,955
諸雑費			
諸雑費	100,000	39,480	100,000
次年度繰越し金			
次年度繰越し金	0	2,000,955	0
支出合計	5,000,279	5,246,279	5,430,955

財産目録 1. 積立金 定期郵便預金 2,500,000円
 (第50回記念事業積立金 2,400,000円)
 (役員選挙積立金 100,000円)

事務局からのお願い

(1) 地方会費納入のお願い

- ① 地方会費は、2000円です。同封の振込用紙で郵便局から払い込んでください。

口座番号は00980 -6 -120808

加入者名：日本産業衛生学会近畿地方会

- ② 振込人と会員名が異なるときは必ず通信欄に会員名をご記入ください。

- ③ 経費節減のため事務局が領収書の送付はご容赦ください。振込用紙の領収書をご利用ください。

- ④ 総会当日、地方会費の納入を受け付けます。ご利用ください(地方会から領収書を発行します)。

平成8年度事業報告

1. 第44回 近畿地方会総会

日 時：平成8年5月24日(金)
場 所：松心会館
出席者数：473名(出席47名,委任状426名)
(会員数1,273名 平成8年4月26日現在)

シンポジウム

- 「快適職場環境の達成をめざして」
(1) 物理的環境の快適化の課題
(2) 作業の快適化と人間工学
(3) 心理的環境の適正化
(4) 製造工場における快適職場づくり

2. 第36回 近畿産業衛生学会

学会長 徳永力雄 関西医科大学 衛生学
出席者数 246名

特別講演

「ISOシステム規格と認証新時代の到来」
大阪大学名誉教授 機械工学 石谷 清幹
座長 関西医科大学 衛生学 徳永 力雄

シンポジウム

- 「作業の快適化のための人間工学的基準と作業管理」
(1) 上肢作業快適化に関する国際規格
(2) キーボード作業の快適化と作業管理
(3) 効果的な作業管理の推進について

3. 評議員会

- (1) 第1回：松心会館 平成8年5月24日(金)
(2) 第2回：関西医科大学 平成8年11月9日(出)

4. 幹事会

- (1) 第1回：松心会館 平成8年5月24日(金)
(2) 第2回：大阪産業保健推進センター 平成8年7月22日(月)
(3) 第3回：関西医科大学 平成8年11月9日(出)
(4) 第4回：大阪産業保健推進センター 平成9年1月13日(月)

5. 近畿地方会ニュース

- (1) 第1回：近畿地方会ニュース26号 平成8年5月1日
(2) 第2回：近畿地方会ニュース27号 平成8年7月1日
(3) 第3回：近畿地方会ニュース28号 平成8年10月15日
(4) 第4回：近畿地方会ニュース29号 平成9年1月10日

6. 産業医・産業看護部会

(1) 第1回産業医・産業看護部会協議会
日 時：平成8年8月21日(水) 大阪府医師会館大ホール
「メンタルヘルスケア-人間の職場環境をめざして-」
基調講演「人に優しい職場環境創造へのアプローチ」
東京都老人総合研究所 精神医学部 矢富 直美
パネルディスカッション
精神科医として
稲岡医院院長(前関西労災病院) 稲岡 長
復職判定医として 松下記念病院 榎葉 明
産業看護職として 住友金属工業(株) 野田 悦子
人事・労務として ダイキン工業(株) 木村 博信

(2) 第1回近畿産業医部会総会

日 時：平成9年2月13日(木) 大阪府医師会館大ホール
テーマ「交替制勤務者の健康」
基調講演「夜勤労働の生理学的評価」
産業医学総合研究所 労働衛生部 須藤 綾子

シンポジウム

- 「交替制勤務者の健康」
(3) 産業看護部会研究会
日 時：平成9年2月28日(金) NTT内本町会館
テーマ「効果的な保健活動を考える Part-II」

7. 研究会活動

- (1) 有機溶剤中毒研究会/産業衛生技術研究会合同研究会
平成8年6月14日 大阪産業保健推進センター
(2) 第2回職業性筋骨格系障害研究会

- 平成9年2月22日 京都同志社大学今出川キャンパス
(3) じん肺研究会
平成9年3月22日 薬業会館
8. その他
(1) 日本職業アレルギー学会総会
平成8年7月18日-19日 千里ライフサイエンスセンター

平成9年度事業計画(案)

1. 第45回 近畿地方会総会

日 時：平成9年5月16日(金) 大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂

2. 第37回 近畿産業衛生学会

日 時：平成9年11月15日(出)
学会長 住野公昭(神戸大学 公衆衛生学)

3. 評議員会

- (1) 第1回：平成9年5月16日
大阪市立大学医学部附属病院 5階会議室
(2) 第2回：平成9年11月15日 神戸大学

4. 幹事会

- (1) 第1回：平成9年5月16日(金)
大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂
(2) 第2回：平成9年7月(未定)
(3) 第3回：平成9年11月15日(出) 神戸大学
(4) 第4回：平成10年1月(未定)

5. 近畿地方会ニュース

- (1) 第1回：近畿地方会ニュース30号 平成9年5月
(2) 第2回：近畿地方会ニュース31号 平成9年7月
(3) 第3回：近畿地方会ニュース32号 平成9年10月
(4) 第4回：近畿地方会ニュース33号 平成10年1月

6. 産業医・産業看護部会

7. 研究会活動

- 8. その他
各部会/研究会の平成8年度事業報告及び
平成9年度事業計画について(平成9年1月10日現在)

Table with 4 columns: 研究会, 代表者, 平成8年度事業報告, 平成9年度事業計画. Rows include 職業性腫瘍研究会, 職業性筋骨格系障害研究会, じん肺研究会.

平成8年度第4回幹事会

日 時：平成9年1月13日(月) 9:30~12:00
場 所：大阪産業保健推進センター 会議室
出席：堀口, 藤木, 徳永, 圓藤, 小泉, 宮下, 中村, 上田, 河合, 阿部(樹屋代理出席-阿部)
(欠席 池田, 山下, 中嶋, 岡田, 埴田, 宮上)

事務局 南, 大原

2. 報告

3. 議題

- (1) 近畿地方会総会時のシンポジウム, 特別講演について
平成9年5月16日(金)
場 所：大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂
テーマ：「産業衛生における国際的動向(案)」
会員外の参加費 2,000円とする。
(2) 平成8年度事業報告(案)および平成9年度事業計画(案)
(3) 平成8年度決算(案)および平成9年度予算(案)
(4) 第8回産業医部会・産業看護部会全国協議会の開催について
(5) その他
選挙制度のアンケート集計結果報告
(6) 物故会員
植西名誉会員 平成8年12月2日に逝去された。
松田 司会員 平成9年1月18日に逝去された。

第2回産衛近畿地方会職業関連性筋骨格系障害研究会
第40回日本産業衛生学会頸肩腕障害研究会

共催ワークショップ報告

職場における頸肩腕障害予防のための ガイドラインの生かし方

「チェックリストから具体的対策立案へ

ービデオを使った討議の試みー」

職業関連性筋骨格系障害研究会世話人
奈良医大公衆衛生 車谷典男

予想を上回る約70名の会員の参加を得て、去る2月22日(土)10時から17時まで、同志社大学今出川キャンパスにて熱心な討議がかわされた。午前中は中石(金医大衛生)の司会で進められた。最初に小野(名大医衛生)が、労働省から「職場における頸肩腕症候群予防対策に関する報告書」が昨年提出されたこと、対策の具体化にはチェックリスト(以下、CL)の活用が考えられるがその有用性についての検討は乏しいこと、会場でのビデオを通じた論議を試みたいことなど、本ワークショップの企画理由を説明した。次いで、代表例としてILO、産衛委員会(73年度)、米国OSHA、フィンランドEWAの4つのCLを取り上げ、各々の特徴と問題点を指摘した。近藤(天理大体育)は、人間工学的改善により腰痛と頸

肩腕障害関連有訴率の減少に成功した洋菓子工場の事例をビデオとスライドを用いて紹介した。CLは職場改善の動機づけと解決の方向性を探る道具として価値が高いこと、しかし、改善評価にはタイム・スタディなどが必要なことを述べた。中田(淀協社医研)は前回の国際労働衛生学会に持参した学校給食の調理現場のビデオを供覧した。調理労働の問題点が上手く編集されており、ビデオを見た多くの外国研究者が調理員の筋骨格系障害の存在を肯定したとの話に説得力があった。さらに詳細なタイム・スタディの結果も示し、それがCLとしての機能を有することを指摘した。午後からは福地(北大教育)が司会を担当し、最初に埴田(滋賀医大予防)が長年の養護学校職場での改善事例をビデオを用いて解説した。対人作業であるが故の職場改善の難しさ、改善の遂行を複雑にする教員の使命感などが見てとれた。教員自身に自らの労働態様をビデオとCLで客観評価させたことが、困難を極めた職場改善を急速に展開させる契機になったとの指摘は、CLの有用性を端的に物語るものであろう。最後に車谷(奈医大公衛)が、OSHAとEWAのCLに従った老人ホームにおける介護労働の頸肩腕部、腰部に対する負担評価結果をスライドにて説明した。その上で、ILO、産衛委員会のCLも含めた4つのCLの長所、問題点、特徴などを論じた。(文中敬称略)

.....→『つぶやき』コーナー←.....

職業性皮膚障害の対策について

大阪府中央労働事務所

勤労者健康サービスセンター 西谷 宣雄

わが国で職業性皮膚障害が目される様になったのは、今世紀後半。石油化学の進歩と共に新しく開発された化学物質による皮膚炎などが広がり始めた時からの事でありました。

1972年、ILOもこの様な疾患群について「職業や労働環境が病原或いは憎悪の原因となる皮膚の異常」と規定する一方で、「既存の疾患の労働による憎悪についても補償し、予防対策を考えなければならない」と報告しているような社会的背景があり、欧米では全職業病例の半数を占め、全労働者の1%が経験している、と報告されています。

それにもかかわらず(わが国の)労働省の統計資料によると'70後半には、殆んど0という数字を示しており健康管理がすすめられた結果、衛生状態が大変良くなったと錯覚する人があっても、不思議ではありません。

実際はどうか?ここにしめす'90年、日本接触性皮膚炎学会で西岡 清教授が発表した職業性皮膚障害職業別

分布状態をみますと(表)、発生率が高いのは、労働基準法・労働安全衛生法の適用をうけることも出来ない小零細企業従業員である事が判ります。

Occupational skin-diseasesの著者 Robert Adams は職業病の診断のためには、職場の直接視察が大切であると言っていますが、これらの職場には、巡視してそこで働く人々の健康を守るためにはどうすればよいかを調べる産業医もいません。臨床医も、産業医学の専門家と協力して病因をたしかめ、予防対策を考えた治療をすすめ、働く人々の病気そのものを、なくしていくという方向で、研究活動を続けるべきでしょう。

表 職業性皮膚障害職種別分布図

臨床例444 例中			
美容師	95例	建設作業	25
機械工	43	理容師	24
調理作業	40	農作業	18
看護婦(士)	33		
看護助手	6		

(西田 清, 第15回日本接触皮膚炎学会, 1990より引用)

「私の産業医活動」

大阪文紙事務機器健康保険組合
健康管理室 久保田 昌 詞

私が産業医の仕事始めて早や3年余り経過しました。この間、職域の社員の方々の健康管理を中心に活動してきました。

私の専攻は糖尿病で、近年増加している糖尿病の一次予防策を如何に展開していくかが目下の関心事です。

その一環として検診においてスクリーン項目として採用しているHbA1c とその他の検診データならびに問診で把握されるライフスタイルとの関連についていろいろ調べてまいりました。

HbA1c の上昇には加齢や糖尿病の家族歴、性差など介入が不可能な因子の他に、高血圧や肥満、飲酒習慣や食習慣の乱れなどは正可能な因子の関与が認められました(詳細は産業衛生学会等で報告する予定です)。後者の影響因子の是正を中心とした健康教育をとりわけリスクを複数もつような人たちに積極的に展開していくことが重要かと考えています。

今後、具体的に実効のある教育の進め方を模索していきたいと思っています。

第70回日本産業衛生学会に参加して

神戸大学医学部衛生学講座 平田まり

今年の日本産業衛生学会の開かれた富山は、丁度桜が満開でした。会場を移動する間にも富山城公園や松川沿いの桜を楽しむことができました。桜の見頃をずっと雨にたたられた関西人にとってはうれしいやり直しの花見になりました。

ところで今回の学会の最大の特徴は演題の発表形式の変更だったと思います。従来の抄録集を用いただけの口頭発表から、スライドの使用も認めた口頭発表とポスター発表が導入されました。口頭発表は発表時間が7分間から10分間に延長されたこともあって情報量が多くなったので、聴く立場として理解しやすくなったと思いました。ポスター発表は演題発表をした立場で言えば、準備に少し手間がかかったものの、時間が十分あり質疑応答が細やかにできて良かったと思いました。学会運営される立場では会場、人員の準備等以前より大変であったろうと推察されますが、今回の形式が今後も続けられることを願っております。ただポスター発表の1時間半立ち放しは脚にこたえました。もちろん椅子は用意されていたのですが、掲示の際の足台と荷物置きに化けてしまいました。見たところ周り近所も同じ状況のようでした。思わぬ所で、自分の演題にも関連する姿勢負担を実感してしまうことになった今年の学会でした。

第27回有機溶剤中毒研究会のご案内

日 時：平成9年9月26日(金)13:30～9月27日(土)12:00

会 場：加太国民休暇村 ☎(0734) 59-0321

和歌山市深山483(南海電鉄本線「和歌山市駅」から南海電鉄加太線で「加太」まで25分、休暇村まで送迎バスで約8分)

参加および一般演題申し込み：参加および一般演題申し込みの締切日は、7月31日を予定しております。参加および一般演題を申し込まれる方は事務局

まで御連絡ください。

事務局：〒640 和歌山市九番町27番地

和歌山県立医科大学 衛生学教室

TEL & FAX (0734)26-8324 宮下和久

研究室見学会のご案内

昨年7月の幹事会で、産業衛生の研究を行っている近畿地区の大学医学部・医科系大学の教室、事業所および研究室等を順次見学する企画が西山会員(滋賀医大)から提案され、了承されました。以下のような日程で見学会を始めることになりましたので、ご案内いたします。現在、第3回までの日程を組んでおり、第4回以降の日程については、決まり次第ニュース等でお知らせします。

なお、準備の都合上、参加ご希望の方は事前に各担当校連絡先に申込をお願いします。

コーディネータ：北原照代(滋賀医大)

第1回 滋賀医科大学・予防医学講座

日 時：5月23日(金)午後2時～

内 容：1) 教室内見学および研究紹介

局所振動曝露の影響に関する実験

手話通訳作業の負荷に関する実験

2) ビデオ検討会～養護学校教員の労働負担

3) 懇談会

連絡先：TEL / FAX (0775) 48-2187 北原

住 所：大津市瀬田月輪町

行き方：JR琵琶湖線・瀬田駅(京都から約20分)からバス15分「西門前」下車

第2回 大阪市立大学医学部・環境衛生学教室

日 時：6月19日(木)午後16時から

内 容：1) 大学院発表会 2) 教室紹介

3) セミナー 4) 懇親会

連絡先：TEL (06) 645-2056 圓藤

住 所：大阪市阿倍野区旭町1-4-54

行き方：JR天王寺駅から徒歩5分

* 第3回は大阪大学医学部環境医学教室、9月24日(休)の予定です(詳細は次号)。

第2回近畿産業医・産業看護協議会開催について

日 時：平成9年9月4日(木)13:00～17:00

場 所：大阪府医師会館

テーマ：健康教育に関するプライバシー(仮称)

編 集 後 記

春は、健康管理に関わる人間にとって、新入社員や新入生が新しい生活環境にうまく適応していけるか気になる季節です。花粉症で春を感じるようになって以来、全身で春を楽しめないのが残念です。本号は、総会の議案を掲載するために変則的なページ構成になってしまいました。申し訳ありません。

(文責・埤田)

編集・企画担当者

(広報担当幹事・事務局員)

池田正之、上田美代子、埤田和史、中村俊子

中島千晶、宮上浩史、大原昭男、南 勉

次 回 発 行 日 1997年7月1日

次回原稿締切日 1997年6月1日